

災害時のLPG対策

LPガスの特徴をよく知り、いざという時の適切な対応を身につけておきましょう。

災害時の対策は

火の始末をしましょう
容器のバルブを閉めましょう

災害時
その

地震

地震を感じたら、まず身を守りましょう

頭を保護して、丈夫な机やテーブルの下にもぐりましょう。できれば火の始末を(無理はしないでください)。そして、窓や扉をあけて出口を確保しましょう。

火の始末をしましょう

揺れがおさまったら、室内の火を素早く消してください。コンロやストーブはもちろん、タバコや線香など小さな火も見逃さないように。二次災害を防止するために、器具栓、ガス栓をすべて閉めて下さい。

容器バルブを閉めましょう

揺れの大きい時、下記のような時は、外へ出てLPガス容器のバルブを閉めて下さい。マンションなど集合配管のお宅は、マイコンメーターの元栓を閉めてください。

自宅を離れて避難する時

ガスの臭いがした時

ガス漏れ警報器が鳴った時

津波が予測される時

重要

災害の発生に速やかに対応ができるよう、容器の回りは、常に整理整頓をしておきましょう。

情報を入手しましょう

津波の危険のある場合には、高台等に避難しましょう。地震情報はラジオ等で入手してください。

みんなで助け合いましょう

バルブを閉めることが困難な一人住まいのお年寄りの方などは、みんなで助け合いましょう。

地震の後、LPガス販売店又は、保安機関の点検を受けてLPガスをご使用ください。

災害時
その

火災

消防署に連絡

消防署員に容器の位置を知らせ、後の処置を頼んでください。

容器バルブを閉める

無理をしないでください。

その他の連絡

LPガス販売店又は保安機関に連絡して下さい。

災害時
その

台風や洪水の恐れ

容器バルブを閉める

無理をしないでください。

容器の固定を確認

容器が倒れたり、流されたりしないよう鎖で固定しているか確認してください。

設備に水がかぶったら

LPガス設備に水がかぶったときは、LPガス販売店又は保安機関の点検を受けてから使用して下さい。

LPガスは安心して災害に強いんだって!!

LPガスは、容器(ボンベ)で各家庭に設置していますので、運搬が容易で配管が短く、災害時の点検が容易です。このことから、復旧が早く、点検が完了したお宅からすぐにガスの使用を再開することができます。

ご存知ですか? LPガスの性質

(LPガスは一般にプロパンガスと呼ばれています。)

- ① 空気より重く、漏れると低い所や物かげにたまります。
- ② 空気中に混じった時、火をつけると燃えます。
- ③ 漏れるとタマネギの腐ったような臭いがします。
- ④ 有害な一酸化炭素(CO)は含まれません。しかし換気不足などの場合はCOを発生させます。

マイコンメーターとは

マイコンメーターはガスの流れや圧力等に異常が発生した場合に自動的にガスを遮断、警告を表示する機能を持った保安ガスメーターです。

マイコンメーターの復帰方法を知っておきましょう

復帰の手順

元栓・器具栓を閉める
復帰ボタンのキャップをはずす
復帰ボタンを押して1～2分まつ。

異常がなければ元通りガスが使えますが、万一使えないときは、LPガス販売店までお知らせください。

注意

ガスが止まったときはガス漏れのおそれもありますので十分確認してください。